科目名	国際看護と災害看護－災害看護	講師	非常勤講師および専任教員
履修時期	3年　前期	単位数	1
		時間（回数）	30(内15)

＜科目設定理由＞

地球環境の変化により大規模な自然災害が頻発し、災害看護を学ぶ必要性が高まっている。災害時の看護活動は、危機管理と倫理的原則の視点をもち、子どもや基礎疾患をもつ成人、高齢者と全ての発達段階における特徴と、身体的・精神的な状況をアセスメントにつなげ、その場の限られた資源を用いて、調整しながら実施できる技術が必要とされる。災害の状況を体験からイメージし、既習の発達段階別の看護や経過別看護の知識に基づいて知識を統合し、災害の特徴や災害サイクルの特徴に即した看護を考え、判断・実践する力が必要である。災害の特徴や災害のサイクルの特徴にそって、看護の知識や技術を適切かつ柔軟に用い、他分野と協働して、災害の及ぼす生命や健康生活への被害を極力少なくするための看護活動を理解する。トリアージや傷病者の救護など実践のシミュレーション学習を通して、災害看護実践力を身につける。

学習目標	１．災害の種類・特徴、災害に関する法律が理解できる ２．災害サイクルの特徴にあわせた看護が理解できる ３．災害看護実践が理解できる
学習内容	１. 災害の種類・特徴 ２. 災害に関する法律 ３. 災害サイクルと看護活動 ４. 被災者と心理の特徴、援助 ５. 災害時に必要な医療・技術 トリアージ 災害時の看護技術 BLS演習
授業形態	講義、演習
評価方法および評価の観点	終講試験
テキスト	ナーシンググラフィカ　災害看護　メディカ出版
参考資料・図書	系統看護学講座　災害看護学・国際看護学　医学書院
履修上の留意事項・受講条件	災害看護の演習は、トリアージを含みグループワークとする。演習で、知識の統合ができるよう学習したことを復習しておくこと